



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

1年生が集団宿泊研修を行いました

先週の6月30日(金)と7月1日(土)の2日間、1年生が国立大洲青少年交流の家で行った、集団宿泊研修の様子を紹介します。

残念ながら、2日間ともに、天候に恵まれず、カヌー等、予定していた外での活動を行うことはできませんでしたが、楽しい時間を仲間と過ごし、今まで以上に絆を深めることができたのではないかと思います。また、代替の活動を通して、判断力や行動力、そしてリーダー性等、たくさんの成長を土産に、帰ってくる事ができたのではないかと思います。引率していただいた先生方からも、課題はあるものの、学校とは違った生徒の良さがたくさん見られたとの報告があり、本当に嬉しく思いました。

1年生は、私の予想をはるかに上回るペースで成長し続けています。1年生の更なる成長が楽しみです。

なお、HPのフォトアルバムでも様子を紹介していますので、ご覧ください。



水泳の授業を楽しんでいます

昨日から、水泳の授業が始まりました。本校には、プールがありませんので、毎年、内子運動公園のプールをお借りして水泳の授業を行っています。プールの維持費やバスの借り上げ代が掛かったりすることを考えると、使えることが決して当たり前ではなく、感謝の気持ちを持って水泳を楽しんでほしいと思います。



西日本豪雨災害から5年

西日本豪雨災害からもう5年が過ぎました。当時、私が昇任校長として勤務していた三善小学校(大洲市)は、校舎が1 m以上浸水し、校長室や職員室、1年生の教室等、1階部分が大きな被害を受けました。

まず、グラウンド内を水が川のように流れ始め、やがて池のようになり、最後に校舎に水が侵入するのを、信じられない思いで眺めていました。幸いにも、地域の防災対策が進んでおり、適切な対応を取ることで、人的な被害がありませんでしたが、この時期になると、当時のことを思い出し、あの時、もっとできることがなかったのかと考えることも多々あります。

先週末から、九州を始め、全国で大雨による被害が発生し、愛媛県や内子町でも、避難指示が出たり、交通規制が掛かったりするなど、不安な時間を過ごしている人がたくさんいます。今年度も、教職員のつぶやきコーナーで下記のことを紹介していますが、是非、御家庭でも話題にさせていただき、防災意識の向上と実践をお願いいたします。

西日本豪雨災害から、はや5年が過ぎようとしています。当時、想定外の被害が発生し、隣市の大洲市や西予市を始め、多くの場所で尊い命が失われました。現在も、仮設住宅での生活を余儀なくされている方がおられるのではないかと思います。私たちは、決してこのことを忘れてはいけません。

西日本豪雨災害は、7月6日から7日にかけての大雨によるものですが、他の豪雨災害でも同じ日(近い日)に起こっている災害が多いそうです。梅雨の終わり頃に起こる急激な気候の変化には、十分気をつけなくてはなりません。

当然、命を一番大切に行動することが大原則です。防災の基本は、「自助」「共助」「公助」であり、まずは「自分の命を自分でしっかり守ること」、次に「共に助け合って行動すること」が大切です。日本は優れた国ですから、被災後(場合によっては被災前から)、すぐに対策本部が設置され、対策を講じていただきます。ただし、最悪の場合は食料や生活必需品が届くのに時間が掛かることも予想されます。やはり、日頃から災害に備えて、飲料水等の備蓄をしておくことが必要かと思えます。

今のうちに家庭でしっかり話し合い、準備や相談をしておきましょう。